

**全東京写真連盟**  
**撮影会写真コンクール**  
**入賞作品集**



審査対象 全東きらぼしオールスターズ撮影会

撮影日 2022年10月16日

審査日 2022年12月10日

審査員：HARUKI先生



金賞  
「色彩とまなざし」  
小倉 良二 様  
モデル 橘 奈穂

### 審査員：HARUKI先生 講評

陰と陽で分けるのなら方向性はあくまでも陰なのですが、そこへ若干のファッション的な要素もありつつサスペンス映画のような印象もある、何ともミステリアスな写真です。おそらくモデルさんの首から上（無表情）の部分と下（普段着であるセーター）の部分とのアンバランスな組合せだからでしょうか。強烈なインパクトで金賞とさせていただきましたが背景処理と緻密なフレーミングをすればもっと素晴らしい作品となることでしょう◎



銀賞  
「庭園にて」  
松岡 達雄 様  
モデル 桜沢 京花

### 審査員：HARUKI先生 講評

落ち着いたトーンの色彩とクールな表情がお似合いのカットで、大人数の撮影会ではなかなか難しい設定の写真です。正面からだただ背景がボケているだけの単調な絵になりますが、撮影ポイントをモデルさんに対して斜めからのアプローチされたことで背景の広がりやもたれかかっている柵の奥行きも表現が立体的になりました。構図としては人物の配置を真ん中ではなく若干端へ寄せたら更なる広がりが出たかと思われます。



銅賞  
「波止の風景」  
守屋 久 様  
モデル 桜沢 京花

### 審査員：HARUKI先生 講評

花のようなものを携えた女性が人待ち顔でたたずんでいるシーン。こちらはポートレート写真というよりは街角でのスナップショットのように見せる手法（もしかしたら偶然かも知れませんが・笑）を用いられたことが功を奏しました。この場合、背景処理としては完全にボカしてしまうよりはこの程度の見え方がちょうど良かったですが、帽子の上から角が出ているのは気になります。モデルさんの顔周辺の後ろだけはもう少しシンプルな背景をチョイスした方が良かったですね。





入選  
「ガントリークレーンと」  
新井 潔 様  
モデル 橘 環



入選  
「チャンス」  
小幡 大輔 様  
モデル 南 りこ



入選  
「ワイルドキャット」  
高橋 壯太 様  
モデル 宮沢 磨由



入選  
「夕景の中で！！」  
鵜飼 典彦 様  
モデル 宮沢 磨由



入選  
「まなざし」  
内藤 勝之 様  
モデル 南 りこ





佳作  
「赤と黒のコーデ」  
堤 博史 様  
モデル 宮沢 磨由



佳作  
「眺める女」  
荒井 秀雄 様  
モデル 沖村 彩花





佳作  
「きらめいて」  
豊田 光司 様  
モデル 宮沢 磨由



佳作  
「可愛らしい」  
斎藤 貴生 様  
モデル 沖村 彩花



佳作  
「The Model」  
在 原 博 様  
モデル 桜 沢 京 花



佳作  
「Smile For You」  
佐 久 間 裕 史 様  
モデル 橘 奈 穂



佳作  
「麒麟になって」  
岸野 孝博 様  
モデル 沖村 彩花



佳作  
「Red dress」  
五島 隆夫 様  
モデル 沖村 彩花





佳作  
「思案の刻」  
矢島 彰 様  
モデル 宮沢 磨由



佳作  
「曇天に佇む」  
米村 充男 様  
モデル 宮沢 磨由





次点  
「赤いスカートの女」  
深野 武雄 様  
モデル 宮沢 磨由



次点  
「秋の装い」  
湯原 章綱 様  
モデル 宮沢 磨由



次点  
「見上げて」  
谷川 朗 様  
モデル 沖村 彩花



次点  
「黄葉の下で」  
河村 徳助 様  
モデル 橘 環





次点  
「セクシー」  
栗原 恵一 様  
モデル 桜沢 京花



次点  
「粋なしぐさ」  
山田 栄一 様  
モデル 橘 奈穂





次点  
「キラメキの君」  
小野寺 基之 様  
モデル 桜沢 京花



次点  
「誘惑の眼差し」  
池田 道政 様  
モデル 宮沢 磨由



次点  
「天を仰いで」  
金澤 義夫 様  
モデル 橘 奈穂



次点  
「リラックス」  
藤波 宏輔 様  
モデル 桜沢 京花

### 【 プリント仕上げ】

数年前から口を酸っぱくして “プリント” の重要性についてアナウンスしてきました。どうしても改善されない数名の方を除いて、ここへ来て全体的にはかなり良くなってきたように思います。あくまでも主観ではありますが優良可で点数を付けるなら80点以上の優ライン越えが3～4年前までだと60%くらいだったのが、この1年以内、いや半年くらいで85%くらいまでに上昇されているような気がします。これは本当に嬉しい、良い意味での誤算です（笑）

そこで追加のサジェスションとしまして “プリント用紙” の選択なのですが、出来るだけ厚手で白色度数の高い色再現性に優れている用紙を使われることをお奨め致します。プリント用紙の価格にはいろいろありますが、一部特殊な高額なものを除いてはA4 1枚あたり30円～60円くらいです。ペラペラの安価な用紙を使っても、色再現性に富む写真用紙を使用してもインクは同じだけかかりますので少しでも質の良い用紙にプリントした方が仕上がりトータルで考えると経済的にもお得かと思えます☆

具体的に質問をされることも少なくないので例をいくつか明記しておきます。

富士フイルム「画彩」、エプソン「クリスピー」、キヤノン「プラチナ」「ラスター」、ピクトリコ「写真用各種」「GEKKO」etc超高級ではなくても上質なレベルの製品です。それぞれの特色や価格は違いますので好みで試されてみてはいかがでしょうか。

本年も残り僅かとなりましたが、良いお年をお迎えください。

そして2023年もお元気で良い写真をたくさん撮れるようにお祈り申し上げます☆

HARUKI